

“市民による市民のための映像祭”「東京ビデオフェスティバル 2026」

入賞作品として「TVF2026 アワード」(34 作品) を決定

- 応募総数は 94 作品 — 12 歳から 96 歳のシニアまで幅広い世代が応募 —
- 入賞は 10～20 代の若い世代から 17 作品、60 代以上のシニア世代から 15 作品
- 社会問題を現代・歴史視点から捉える作品、地域コミュニティや自分を見つめる作品が入賞
- 入賞者・ビデオファンが集う「TVF2026 フォーラム」を 3/7 (土) にリアルイベントで開催
～「ビデオ大賞」(1 作品) を審査委員が決定・発表する「公開審査会」も開催～

特定非営利活動 (NPO) 法人「市民がつくる TVF」(代表理事：小林はくどう) が主催する、今年で 17 回目を迎えた“市民による市民のための映像祭”「東京ビデオフェスティバル 2026」(TVF2026) には、94 作品 (国内：92 作品/海外：2 作品) が寄せられ、このたび、入賞作品となる「TVF2026 アワード」として 34 作品を決定しました。入賞 34 作品は、今回を象徴する作品に贈られる「ビデオ大賞」(1 作品) へのノミネート作品となります。「ビデオ大賞」は審査委員による「公開審査会」(後述) にて決定・発表します。

入賞者とビデオファンが集う、TVF 恒例の一大イベント「TVF2026 フォーラム」は、来る 2026 年 3 月 7 日 (土) 開催 (会場：東京工芸大学 中野キャンパス (東京都中野区) *一般開放。入場無料) で開催します。前年に続きリアルイベントでの開催となります。

「TVF2026 フォーラム」では、特別企画として、「映像を作り続けるために ～学生時代に学ぶこと/大人が伝えたいこと～」と題して、映像制作を学生たちが学ぶこと、社会人としても伝え続けることを、具体的な作品制作から議論します。また、「TVF2026 アワード」の入賞者を表彰し、同アワードに選ばれた 34 作品を題材に、入賞者と来場者を交えた会場全体での映像制作について語り合う「セッション」や、「特別賞」(2 賞) として、「TVF ジャーナリズム賞」は発表・表彰と専任審査委員による講評を、「市民賞」は発表・表彰を行います。そしてフィナーレには、審査委員が「ビデオ大賞」をライブで審査・決定・発表する「公開審査会」を実施します。

■「TVF2026 フォーラム」の概要 (予定)

- [日 時] 2026 年 3 月 7 日 (土) 10:30～17:10
- [内 容] 特別企画、「TVF2026 アワード」表彰と入賞者とのトーク、「特別賞」の発表・表彰、
「ビデオ大賞」の公開審査会と発表・上映、表彰
- [会 場] 東京工芸大学 中野キャンパス (住所：東京都中野区本町 2-9-5)
- [参加費] 無料

■「ビデオ大賞」「特別賞」の決定・発表

- ・「ビデオ大賞」の決定・発表：「TVF2026 フォーラム」の審査委員による「公開審査会」にて。
- ・「特別賞」(TVF ジャーナリズム賞、市民賞) の発表：「TVF2026 フォーラム」にて。

「東京ビデオフェスティバル 2026」応募作品・応募者の概要

1. 応募総数

- ・応募総数：94 作品（国内：92 作品／海外：2 作品）。
- ＊前回：95 作品（国内：94 作品／海外：1 作品）。

2. 応募世代

12 歳から 96 歳のシニアまで、幅広い世代が応募。

3. 世代別傾向

- ・中学生、高校生、大学生を中心とする 20 代までの若い世代から 40 作品（全体の約 43%）。
- ・30～50 代のミドルエイジから 16 作品（同約 17%）。
- ・60 代以上のシニア世代から 38 作品（同約 40%）。

4. ジャンル別傾向

- ・ドキュメンタリーが最も多く 62 作品が寄せられ、全体の約 66%。
- ・その他、ドラマ 25 作品（同約 27%）、CG／アニメーション／アート 7 作品（同約 7%）。

「東京ビデオフェスティバル 2026」入賞作品・入賞者の傾向

1. 10～20 代の若い世代から 17 作品が入賞、60 代以上のシニア世代から 15 作品が入賞

今回は、10～20 代の若い世代から 17 作品。また、60 代以上のシニア世代から 15 作品が入賞しており、若い世代とシニア世代の入賞が顕著。30～50 代のミドルエイジの入賞は 2 作品となりました。

2. まさに“ドキュメンタリーの TVF”、ドキュメンタリーから 27 作品が入賞

今回も、応募作品全体の約 66%をドキュメンタリーが占め、まさに“ドキュメンタリーの TVF”として 27 作品が入賞。他は、ドラマ 5 作品、アート・アニメーション 2 作品が入賞しています。

3. 多彩なテーマ／視点の入賞作品群

1) 地域や社会の問題を、過去の歴史、あるいは現代の視点から取り上げた入賞作品（14 作品）

広島で被爆者の高齢化が進む中「被爆体験伝承者」として活動する 20 代の伝承者に焦点をあてた作品。古いアルバムをきっかけに、ある親族の人生を通して戦争の現実を考える作品。被爆 4 世の中学生が、祖父の話聞きながら戦争を追体験する作品。得意の英語を活かして平和公園のガイドボランティアをする小学生の姿を追った作品など、被爆 80 年、戦後 80 年のときに戦争とは何かを考える機会となる作品が入賞しています。

また、東日本大震災の被害者にとって、震災は過去ではなく今も続いていることを伝える作品。不登校の問題解決のために新たな学校の実現を提案していく高校生の作品。クマによる人身被害の背景や現場の実情と対策に迫る作品。AI という存在を最も生々しく関わっている「今の学生世代」のリアルを追う作品など、地域や社会の問題を取り上げた現代の視点としての作品が入賞しています。

2) 地域やコミュニティをテーマに取り上げた入賞作品（8 作品）

貴重な鳥であるブッポウソウ（仏法僧）の地域での保護運動の軌跡を伝える作品。聴覚障害者・健常者・ダウン症のある人など、多様な個性が集う手話ダンスチームの挑戦を追った作品。わが家の恒例行事であるかき餅作りを記録した作品など、地域やコミュニティをテーマにした作品が入賞しています。

3) 自分を見つめた入賞作品 (6 作品)

作者がボランティアとして足利の山の整備活動をしている作品。戦争中、防空法で禁じられていた都市からの脱出をした父親のおかげで今日の自分があることに思いをはせる作品。ベテラン外科医が、癌と診断された高齢の患者の手術をすべきか葛藤する姿を描く AI を駆使したアニメーション作品など、自分を見つめる視点を感じさせる作品が入賞しています。

4) 創作表現の入賞作品 (6 作品)

新婦を追いかけて新郎が全力ダッシュする爽快感を演出したドラマやワンシーンワンカットで制作された作品、手描きによる繊細な線と生々しい面で表現されたアニメーションなど、創作表現に優れた作品が入賞しています。

今回の新たな傾向として、若者からシニアまで AI を使ったアニメーション、イラスト、写真などの表現の活用が、全体的に多く見受けられました。

■「TVF2026 フォーラム」プログラム (予定)

●2026年3月7日(土)／10:30～17:10 (10:00 受付開始)

〈進行〉

- ・10:30～ 開会宣言、主催挨拶
- ・10:40～ 特別企画「映像を作り続けるために～学生時代に学ぶこと/大人が伝えたいこと～」
- ・12:00～ 休憩
- ・13:00～ 「TVF2026 アワード」の表彰、討論
 - セッション 1 (テーマ:「地域・社会 (歴史)」) /6 作品)
 - セッション 2 (テーマ:「地域・社会 (現代)」) /8 作品)
 - セッション 3 (テーマ:「地域コミュニティ」) /8 作品)
 - セッション 4 (テーマ:「自分を見つめる」) /6 作品)
 - セッション 5 (テーマ:「創作・表現」) /6 作品)
- ・15:00～ 「市民賞」「TVF ジャーナリズム賞」の発表・表彰
「TVF ジャーナリズム賞」の専任審査委員による講評
- ・15:30～ 公開審査会
- ・16:40～ 「ビデオ大賞」決定・上映、表彰
- ・17:00～ 記念撮影、閉会宣言 (終了予定 17:10)

■入賞作品の公開 (Web 配信)

- ・当法人ホームページにて入賞した 34 作品を公開中 (Web 配信)
※今回の応募作品も合わせて公開しています (一部非公開あり)。

・「東京ビデオフェスティバル」公式ホームページ (NPO ホームページ) URL

URL <https://tvf2010.org/>

■「東京ビデオフェスティバル」審査委員 (五十音順・敬称略)

小林 はくどう (ビデオ作家・成安造形大学 名誉教授)
佐藤 博昭 (ビデオ作家・東京工芸大学 講師)
津野 敬子 (ビデオ作家・DCTV 共同代表)
村山 匡一郎 (映画評論家)

■「TVF ジャーナリズム賞」専任審査委員（敬称略）

下村 健一（市民メディア アドバイザー・白鷗大学 特任教授）

神保 哲生（ビデオジャーナリスト）

筑紫 ゆうな（切り絵作家・旧「筑紫哲也賞」常任選考員）

信友 直子（ドキュメンタリー映画監督）

■各賞の選出について

・「ビデオ大賞」

「TVF2026 アワード」の中から今回を象徴する作品として選出されます。

・「TVF2026 アワード」

「入賞」に位置づけられる作品。全応募作品から選出されます。

・「TVF ジャーナリズム賞」

特別賞。「TVF2026 アワード」受賞作品の中から、同賞の専任審査委員により、ジャーナリスティックな視点に特に優れた報道系作品を選出します。

・「市民賞」

特別賞。全応募作品の中から NPO サポーター会員、および「TVF2026」の作品応募者の審査投票により選出されます。

<NPO 法人 市民がつくる TVF について>

NPO 法人 市民がつくる TVF は、31 年間の歴史を持つ国際的な映像祭「東京ビデオフェスティバル (TVF)」(日本ビクター主催・2009 年 3 月閉幕)の精神を継承し、市民有志が集まって結成した団体です(設立:2009 年 11 月)。ビデオ作品の制作や発表機会を通じて、映像によるコミュニケーションの活性化を図る活動を行っています。

<東京ビデオフェスティバルとは>

「東京ビデオフェスティバル」は、ビデオメッセージの伝達と表現力の向上を目的に 1978 年以来、通算 48 回継続開催となる映像祭です。当 NPO の主催となって今年で 17 回目を迎えます。

本件に関する報道関係窓口

特定非営利活動法人 市民がつくる TVF 事務局 問い合わせ窓口

E-mail : npotvinfo@gmail.com

TEL : 070-4150-2167

FAX : 042-670-7085

*** 記事中の読者様の問い合わせ先も上記でお願いいたします。**

<「TVF2026 アワード」(34 作品) 一覧>

NO	作品名	作者名	年齢	作品時間	国/都道府県
1	独り山整備は楽しいからやってる のさ 天狗谷の復興	衛府自衛(えふじえい)	61	13:06	栃木県
2	『B29 墜落』 ～秋妻の田んぼにB29 が落ちた!!～	堀 浩	65	13:26	栃木県
3	小笠原島領土交渉と塙保己一 塙保己一先生の蔵書から即座に回答	田中 学	76	10:10	埼玉県
4	静かな木立の道、かも知れない	埼玉県立芸術総合高等学校 24 期メディア専攻	-	12:14	埼玉県
5	つらいことばかりじゃない。	木下 奈々花	16	18:05	埼玉県
6	名木・西川材 筏に組んで	住田 勝	82	12:43	埼玉県
7	約束の森 ～ヤマネ物語～	石川 直哉	46	9:20	埼玉県
8	わが家伝統のかき餅作り	島村 定夫	75	12:22	埼玉県
9	あのときわたし、	泉尾 和佐 (上智大学)	21	18:48	東京都
10	命を届ける場所	吉田 理乃 (上智大学)	21	19:47	東京都
11	終わらない過去に生きる ～おれたちの伝承館～	東京大学大学院情報学環 「おれたちの伝承館」班	-	20:00	東京都
12	怪奇<動>画報 Y 氏の愉しみ	岩井 悠辰	27	3:20	東京都
13	奇跡の映画館 御成座への旅 ～往復 1300km のマジカル弾丸シネマツアー～	橋脇 隆	62	19:29	東京都
14	切らない覚悟	小川 旭	78	4:12	東京都
15	SYNAPSE	青木 施恩	23	10:02	東京都
16	電気代 0 円生活 やってみました。	フジイチカコ	65	17:00	東京都
17	ト一横の若者達	鈴木 莉奈・劉 羽騫・中山 宙靖 (専修大学)	22	17:24	東京都
18	逃げ出した父親の決断	鈴木 賢士	93	6:19	東京都

NO	作品名	作者名	年齢	作品時間	国/都道府県
19	クマと人 長野の境界の声	高橋祐月・塩崎 将生・廣田 愛喜 (専修大学)	21	17:29	神奈川県
20	全身 AI 人間	蜂谷 光咲 (東京工芸大学)	23	19:16	神奈川県
21	ひだまりのシーラカンス	佐藤 香奈 (上智大学)	21	11:22	神奈川県
22	Reflector どこから来て、どこへ行く	近藤 克巳	70	5:00	神奈川県
23	羽ばたけブッポウソウ ー天龍村 40 年の軌跡ー	山岸 哲	86	19:59	長野県
24	学校つくりたい! ロングバージョン	桜丘高等学校 放送部 テレビドキュメント班	-	20:00	三重県
25	花嫁逃走曲	難波 弘二	29	20:00	京都府
26	僕とおじいちゃん ー里に来る野生動物ー	谷口 正治	75	6:20	兵庫県
27	アルバムの持ち主	加藤 道明	68	18:30	広島県
28	記憶をつなぐ ~I am a 4th-generation hibakusha~	広島市立牛田中放送部	-	8:41	広島県
29	手話ダンスがくれた宝物 ~ここが、私たちの輝く場所~	広島経済大学山田哲敬ゼミナール 巳之越 由真・藤田 杏花・吉岡 瞭・鳥居 愛美香	-	19:58	広島県
30	平和の種まき ~微力だけど、無力じゃない~	広島経済大学山田哲敬ゼミナール 谷本 翔哉・小笹山 潤・山口 鈴花・鳥居 愛美香	-	19:44	広島県
31	僕の言葉で、ヒロシマを ~被爆 80 年 小学 6 年生の英語ガイド~	広島経済大学メディアビジネス学科 築瀬 海色・古本 怜也・谷 柚花・榎本 悠馬	-	7:58	広島県
32	この街と共に歩いて	島田 徳子	84	8:50	福岡県
33	宝満山のヒキガエル	末永 邦夫	81	10:00	福岡県
34	Who owns the story?	国本 隆史	44	20:00	ドイツ

注)・作者名敬称略。国内・海外の順で記載。また国内は北から都道府県順で記載。同じ国/都道府県は作品名の五十音順で記載。